

## 第1回「農林大祭」を開催

和歌山県農林大学校となって第1回目となる「農林大祭」を、12月3日に開催いたしました。

祭りは、「招福！農林業を担う若者の祭典」をテーマに、実りへの感謝と農産物販売を通じて地域の皆さんとの交流を深めることを目的に行っています。

催しとして行われた農産物販売は、学生達が丹精込めて育ててきたもので、「果樹」「野菜」「花き」ともにその出来は上々で、開会式前からお客様の列が出来るほどでした。

農産物販売以外にも、紀州材でお箸を作る体験や、お子様が楽しめる「ビンゴゲーム大会」を行ったり、また、農林大軽音学部は、授業が終わってから毎日遅くまで練習した楽曲を披露しました。日頃の学習内容についてもパネル展示をしたり、学生が案内する農林大ほ場見学も実施しました。

最後には、大江校長や磯部学生自治会長らによる「もちまき」が行われ、盛会のうちに閉会することが出来ました。



磯部自治会長の挨拶



花き類の販売



学生によるほ場見学



もちまき

## 平成 29 年度 1 年生意見発表会を開催

1 年生 23 名が日頃の考えている、農林大学校における実践教育、我が家の農業経営や生活、地域の農村環境、就農等について意見発表を行いました。

学生は、大勢の前で発表することに緊張しながらも、自らの思いを発表しました。

最後に全体を通し、岩尾副校長から、「日頃家族と会話していることで農業への関心を持ったことがよく伝わりました。」、「自分の意見に自信を持ち、明るく夢があるような発表をしてほしい。」と講評をいただきました。

上位 3 名には賞状と副賞が贈られ、最優秀賞に選ばれた武市優珠さんは、東海・近畿ブロック農業大学校学生研究および意見発表会で和歌山県代表として発表を行います。

また、優秀賞に選ばれた山崎勝さんは、和歌山県青年農業者会議で本校代表として発表を行います。



最優秀賞 武市 優珠さん



優秀賞 山崎 勝さん



優良賞 西岡 夢さん



岩尾副校長による講評



## 出張和農市を開催

12月16日（土）、京奈和自動車道かつらぎ西パーキングエリア（下り）内の道の駅「かつらぎ西」物産販売所において、かつらぎ町商工会アンテナショップにお世話になり、店舗の一部をお借りして出張和農市を開催しました。

販売実習の一環として1年生4名が、農林大学校で育てたみかんや白菜・キャベツ・人参などの野菜、小ギク、ユリ、トルコギキョウ、切り花ハボタンなどの花き類を販売しました。

当日はあいにくの曇り空で寒い日でしたが、開店当初からお客さんが来て下さり「あなたたちが作ったの?」「この野菜の名前は?」「どんな料理にしたら美味しいの?」等と質問もあり、学生もコミュニケーションを楽しみながら、好評のうちに販売することができました。



## 平成 29 年度 第 3 回林業研修部公開講座

### 森林整備講座

#### テーマ「森林整備の低コスト化について」

平成 29 年 12 月 16 日（土）、和歌山県農林大学校林業研修部にて第 3 回公開講座を開催しました。

講座では、和歌山県森林整備課森づくり班の山本班長より、森林整備の低コスト化に向けた県の取り組みの状況や森林整備に係る補助制度について説明しました。

講義の中で、急峻な施業地ではドローンを活用した植栽の低コスト化が検討されていることにも触れ、後半には敷地内の実習場へ移動してドローンの操作を実演しました。

実際に操作も体験してもらいながら、どのような活用法があるのかを知ってもらい、参加者の皆さんにも身近に感じてもらえたようでした。

今回も 30 名を超える方々にご来場いただき、参加された皆さんは興味深く講義に聴き入っていました。



会場の様子



ドローン操作実演・体験の様子

## 平成29年度 プロジェクト研究発表会 開催！！

12月19日に平成29年度プロジェクト研究発表会が開催されました。果樹、野菜、花きコースからそれぞれ1課題が発表され、1年あるいはそれ以上かけて調査した結果等について活発な議論がなされました。



今年度は、花きコースの「オリエンタルユリ‘ソルボンヌ’の切り下球を用いた栽培の検討」が最優秀賞を受賞しました。今後、来年1月18日、19日に行われる「東海近畿ブロック意見発表及びプロジェクト研究発表会」で発表するために、更にブラッシュアップしていく予定です。

## イチゴの収穫、始まりました！！（野菜コース）

今年は温度が低いためか、例年より収穫が1週間～2週間くらい遅れて、12月の中旬くらいから、イチゴの収穫を開始しました。品種は、和歌山特産の「まりひめ」、作年度に品種登録出願された「紀の香」、従来作られている「さちのか」の3種類です。



卒業論文研究の課題の1つですので、調査も行わないといけません。写真は、試験区ごとに収穫している様子です。



収穫適期の「まりひめ」



収穫されたイチゴ

収穫したイチゴは、年明けの和農市で販売する予定です。大粒で甘い和農林大産のイチゴ、ぜひご賞味下さい。  
(野菜コース)